

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：金融危機から国際関係・災害リスクまで
研究代表者	上東 貴志 (神戸大学・計算社会科学研究センター・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、日本が抱える財政問題や国際関係等におけるトレンドから大きく逸脱するリスクを事前に推定して、適切に対応できる包括的な金融・財政政策を導出する手法を確立するものである。</p> <hr/> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>事後分布から推定したパラメータによる構築並びに随時修正するモデルから線形・非線形により、将来起こり得る予期せぬリスクを予測する手法を開発することができれば、本研究の学術的意義は大きいものとなる。従来、金融危機や災害、突発的な国際紛争を予測することは困難であったが、本研究の成果がそうしたリスクを事前に予測することに資するのであれば、大きな社会的意義が期待できる。研究代表者及び研究分担者は優れた業績を上げてきており、新規性・独自性に富む本研究を着実に遂行するものと判断する。</p>